

**製品名: GLK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11469**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	101kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP4K3
別名	MAP4K3; RAB8IPL1; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 3; Germinal center kinase-related protein kinase; GLK; MAPK/ERK kinase kinase kinase 3; MEK kinase kinase 3; MEKKK 3
遺伝子 ID	8491.0
SwissProt ID	Q8IVH8
免疫原	抗血清はヒト MAP4K3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

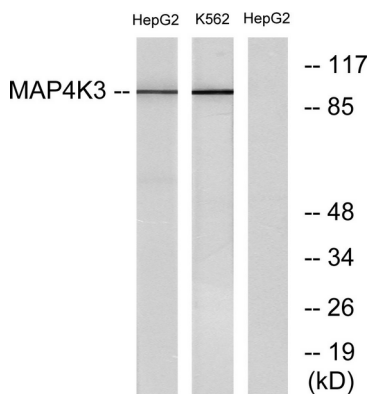
**背景**

マイトジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼ3(MAP4K3) Homo sapiens この遺伝子は、マイトジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、c-Junをはじめとする細胞シグナル伝達における重要なエフェクターを活性化します。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写産物が観察されています。[RefSeq 提供、2012年7月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 環境ストレスへの応答において役割を果たす可能性があります。JUN N 末端経路の上流で作用するようです。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: CNH ドメインを1つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含む。サブユニット: SH3GL2 と相互作用する。この相互作用は、MAP4K3 を介した JNK 活性化を制御すると考えられる。組織特異性: 調査した全ての組織で普遍的に発現しており、心臓、脳、胎盤、骨格筋、腎臓、膵臓で高レベル、肺と肝臓で低レベルであった。

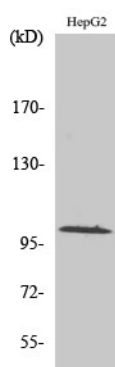
## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

## 画像データ



MAP4K3 抗体を用いた HepG2 細胞および K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GLK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析